

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	6年 外国語（9月） 教科書名 Here We Go! Unit 1・2・4・5
③言語活動の充実を目指した授業づくり	熊本県熊本市立託麻東小学校 外国語専科 江藤 展

## ALT との国際交流会

### 1 ALT 複数派遣

熊本市では、学期ごとに ALT の複数派遣が申請できる。そこで、ALT との交流会を企画した。2 学期に 6 年生 5 学級において、各 1 時間の授業で 4～5 人の班に一人の ALT が配置できるように ALT 8 人の派遣を教育委員会へ依頼した。



### 2 自己紹介と日本の伝統的な行事紹介

新型コロナウイルスの影響で 6 月から対面授業開始だったため、1 学期は 2 ヶ月間であった。その期間、「自己紹介」と「日本の伝統的な行事紹介」の 2 単元の授業を行い、休みに入った。

1 学期の学習を生かして ALT との交流ができるようにするとともに、夏休み明けに 1 学期の学習の振り返りが容易に行えるように、次のような学習計画を立てて、実践を行った。

タブレット端末（熊本市では、現在児童数の 3 分の 1 にあたる台数の iPad が全ての小中学校に配置されている。）と手軽にプレゼンテーションやビデオ撮影、課題の提出等ができるアプリケーションソフト「ロイロノートスクール」を用い、次の学習活動を行った。

Unit	単元のゴールの活動
1	絵や写真を用いて出身地や得意なことを言う自己紹介をペアで撮影し合い、動画を提出する。
2	日本の行事やそこでできることを写真や絵を用いて紹介するプレゼンテーションをペアで撮影し合い、動画を提出する。

### 3 国際交流会

交流会の概要は以下の通りである。

- ① 全体学習 1（めあて確認等）
- ② グループ学習
  - ・ALT の自己紹介を聞く。
  - ・児童から ALT へ質問
  - ・児童の「自己紹介」及び「日本の行事紹介」発表
  - ・ALT から児童へ質問
- ③ 全体学習 2（アンケート記入及び感想交流）



アンケート結果より、95%の児童が「ALT の先生と積極的にコミュニケーションに取り組めた。」と全体的に肯定的な反応を示した。担任からは「普段と違ったコミュニケーション力の高さを持った児童の姿が見られた。」「交流会から戻ってきた子どもたちの興奮した表情が印象的だった。」などの肯定的な感想が寄せられた。

### 4 今後の学習へとつなげるために

Here We Go!では「世界で活躍する人を紹介する」単元が設定されている。その学習を受けて、お互いの班で交流した ALT を紹介し合い、自分が交流した ALT 以外の情報も共有し、3 学期に開く第二回国際交流会に向けて備えることとする。また、3 学期まで ALT との交流が途絶えないように 6 年生が現在行っている「夏休みの思い出」の授業では、班で協力して交流した ALT に向けて夏休みの思い出を紹介するビデオレターを作成し、各 ALT に送る学習を進めている。

#### 指導助言・アドバイスコーナー

授業とは、一コマで成り立っているのではなく、外国語科の場合は、一年間で、あるいは、二年間でどのような力を子供につけるのかを、教師が常に意識をして成り立つものだと考えます。江藤教諭の本実践からは、一年後の子供の姿が見えてきます。単元計画をバックワードデザインで行うのと同様、年間計画も一年間後の姿から逆算して立てることが大切です。また、本実践では、市の ALT 派遣をうまく活用し、子供達の英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲を高めていることも見逃せませんね。  
(文科省視学官 直山木綿子)